

産業厚生常任委員会 資料

平成28年4月12日
地域創造部 まち未来課

資 料

国道 175・372 号交差部周辺活性化基本計画について

1 推進母体 まちの拠点づくりコンソーシアム

(1) 構成

- ① やしろ商業開発
- ② イオン社店
- ③ 加東市観光協会
- ④ 加東市商工会
- ⑤ 加東市地域創造部商工観光課
- ⑥ 加東市地域創造部まち未来課

(2) 開催内容

- ① 平成 27 年 8 月 27 日（木）アドバイザリー検討会
有識者による加東市の中心市街地の活性化のための方策について検討
- ② 平成 27 年 9 月 17 日（木）まちの拠点づくりコンソーシアム準備会
構成団体による事前調整（中心市街地の活性化方策について）
- ③ 平成 27 年 10 月 22 日（木）まちの拠点づくりコンソーシアム
B i o の既存ストック（駐車場）を活用した中心市街地活性化方策について
（コンテナハウスの活用について）
- ④ 平成 28 年 2 月 9 日（火）まちの拠点づくりコンソーシアム
B i o の既存ストック（駐車場）を活用したコンテナハウスの実施について

2 国道 175・372 号交差部周辺活性化基本計画に記載の「基本的考え方」について

(1) 今あるものを活用し、育てていく

B i o の既存ストック（駐車場：利用実態調査により活用可能）を活用し、仮設建築物（コンテナハウス又は大型テント等）により、人・物等の地域資源の魅力を高め、育てていく。

また、B i o 店内において同様の事業展開の実施可能性について検討を行う。

（B i o 建設時の補助金に関する規制解除が必要）

(2) 民間でできることは民間に任せる

民間：独自の活性化方策

行政：市街化区域編入手続き（一般保留）

(3) 行政の行うべき施策を統合化・集中化

地域公共交通網形成計画（策定中）に基づき、バスターミナルの設置及びパーク&ライドの推進を図る。

(4) 社会実験を活用しながら最適解を求めていく

新たに設置する「まちの拠点」において、チャレンジショップを社会実験として実施し、商店街又は B i o 店内での起業へつなげる。